

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福山市立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクヤマシリツダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中国・四国地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	公立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	企業・行政実習
	学部・研究科等名	都市経営学部
	担当教職員名・役職	近藤桂司・教授
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	8
	受入企業等数	16
	受入企業等名	福山市役所、(株)天満屋、福山市農業協同組合、(株)アクトシステムズ、(株)栄工社、(株)エブリイホームイホールディングス、スガナミ物産(株)、(株)鈴木工務店、タカオ(株)、(株)トモテツセブン、鞆鉄道(株)、日本コンピューターシステム(株)、広島化成(株)、(株)プブレひまわり、ホーコス(株)、丸丸海陸運輸(株)
	インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	福山市内の企業において、販売等の接客や仕入れ業務、工場現場での施工管理や図面作成等または行政機関において、窓口業務やイベント・ワークショップの準備等の就業体験を行う。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		受入企業からの実習評価書の評価を基礎として、実習日誌、実習報告書、成果報告書、発表会の内容を加味し評価している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用手法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	学生全員が報告書を作成し、それらをまとめた冊子を学生・受入企業等発表会参加者に配付している。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	以前は、インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施していたが、複数の企業側から「実習を中断することになり、円滑な実施に支障がある」と指摘を受け中止している。

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	履歴書の書き方についての指導や利潤追求と損益の考え方, 受入先の企業等の研究やビジネスマナー講習等行う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	実習内容とその考察を公開の場において発表する報告発表会を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	以前は, インターンシップ中に, 教職員が定期的に企業等に赴き, 学生と面談を実施していたが, 複数の企業側から「実習を中断することになり, 円滑な実施に支障がある」と指摘を受け中止している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し, 学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習期間中に毎日作成する「企業・行政実習日誌」や実習最終日に作成する「企業・行政実習報告書」により教育的効果を測定している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実働7日間以上10日間以下
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習は, 実働7日間以上10日間以内で実施し, 事前学修を2コマ(1コマ90分), 実習終了後に成果を発表する報告発表会を行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い, 学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど, 大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し, 協働して実施している 4.受入企業等も, インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事後学修に受入企業等も参加し, 所見を述べていただいている。また, 実習内容も受入企業に4段階で評価していただいている。(成績は大学側で総合的に評価している。)
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について, 詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://portal.fcu.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00802A.jsp
問い合わせ先	大学等名	福山市立大学
	担当部署名	事務局学務課
	担当者役職名	主事
	担当者氏名	山本理恵
	電話番号	084-999-1113
	メールアドレス	gakumu@fcu.ac.jp